

# 令和元年度第3回加西市元気なまちづくり市民会議 次第

令和元年8月21日(水) 14時～  
加西市役所 1階多目的ホール

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 委員等出席者の紹介
- 4 議事
  - (1) 財政状況（平成30年度決算見込ベース）の報告
  - (2) 平成30年度事業の評価検証
    - ① 第2回部会 外部評価（2次評価）の進め方
    - ② 第2回部会 外部評価（2次評価）の実施 ※3部会での検討
    - ③ 第2回部会 外部評価（2次評価）の実施 ※全体会での検討
- 5 その他
- 6 閉 会

## 配布資料

- ・資料1 財政状況（平成30年度決算見込ベース）
- ・資料2 第1回部会 外部評価（2次評価）実施要領
- ・平成30年度総合計画施策評価一覧 ※前回の部会による総合評価と意見反映分
- ・平成30年度総合計画評価シート ※差し替え4枚

## 【次回開催予定】

第4回 令和元年9月24日(火) 14:00～ 市役所1階多目的ホール  
※ 行財政改革プラン(総合計画実施計画)の検討 等

## 令和元年度 第3回加西市元気なまちづくり市民会議 出席者名簿

(五十音順)

氏 名	団体名等	役 職	備 考
石 芳博	加西市区長会	富田地区代表区長	
上田尾 真	神戸新聞社	北播総局長	
織部 明政	加西市連合PTA	副会長	
久米澤 稔	連合兵庫北播地域協議会	副議長	
杉本 建人	加西商工会議所	専務理事	
杉山 武志	兵庫県立大学環境人間学部	准教授	
高見 千里	女性農業者	代表	
谷勝 公代	加西市連合婦人会	会長	
辻田 聡信	加西市地域おこし協力隊	隊員	
仁科 崇良	北条金融協会	会長	
松岡 勝己	加西市老人クラブ連合会	会長	
宮本 真見子	加西市立幼稚園・こども園PTA連絡協議会	会長	

### ■市担当者（説明員）

氏 名	所属・役職名
山本 和孝	総務部長
奥隅 一博	健康福祉部長
丸山 常基	地域振興部産業振興課長
末廣 泰久	都市整備部長
高井 勝仁	生活環境部長
本玉 義人	教育部長

### ■事務局

氏 名	所属・役職名
千石 剛	ふるさと創造部長
藤後 靖	ふるさと創造部人口増政策課長
後藤 伸嘉	ふるさと創造部人口増政策課係長
岩野 裕之	ふるさと創造部人口増政策課主任
大西 弘晃	ふるさと創造部人口増政策課主事
小山 映	ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員

## 【10年間の財政収支見通し】

## ～ 進捗状況表 ～

(単位:百万円)

項 目	決算 H22		【決算】	【6月補正】								
			H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
市 税	6,453	新計画	6,662	6,589	6,739	6,717	6,693	6,677	6,731	6,607	6,659	6,710
		見込(実績)	6,662	6,589	6,739	6,717	6,811	6,789	6,876	6,952	6,843	6,710
		増減	0	0	0	0	118	112	145	345	184	0
地 方 交 付 税	4,450	新計画	4,381	4,282	4,058	3,912	3,970	3,690	3,717	3,648	3,711	3,696
		見込(実績)	4,381	4,282	4,058	3,912	4,009	3,735	3,725	3,625	3,675	3,696
		増減	0	0	0	0	39	45	8	△ 23	△ 36	0
譲 与 税 ・ 交 付 金	990	新計画	958	879	925	973	1,270	1,285	1,298	1,390	1,396	1,402
		見込(実績)	958	879	925	973	1,325	1,156	1,206	1,239	1,284	1,402
		増減	0	0	0	0	55	△ 129	△ 92	△ 151	△ 112	0
そ の 他 の 収 入	1,544	新計画	1,726	1,653	1,481	1,410	1,226	1,247	1,308	1,278	1,268	1,268
		見込(実績)	1,726	1,653	1,481	1,410	1,313	1,525	1,697	1,764	928	1,268
		増減	0	0	0	0	87	278	389	486	△ 340	0
歳 入 計	13,437	新計画	13,727	13,403	13,203	13,012	13,159	12,899	13,054	12,923	13,034	13,076
		見込(実績)	13,727	13,403	13,203	13,012	13,458	13,205	13,504	13,580	12,730	13,076
		増減	0	0	0	0	299	306	450	657	△ 304	0

人 件 費	3,101	新計画	2,553	2,430	2,393	2,475	2,475	2,481	2,483	2,486	2,457	2,463
		見込(実績)	2,553	2,430	2,393	2,475	2,447	2,461	2,467	2,475	2,534	2,463
		増減	0	0	0	0	△ 28	△ 20	△ 16	△ 11	77	0
扶 助 費	1,002	新計画	932	1,019	996	1,008	1,012	1,020	1,029	1,037	1,046	1,055
		見込(実績)	932	1,019	996	1,008	1,103	1,161	1,181	1,241	1,209	1,055
		増減	0	0	0	0	91	141	152	204	163	0
公 債 費	2,018	新計画	1,964	1,897	1,718	1,735	1,561	1,631	1,588	1,620	1,715	1,830
		見込(実績)	1,964	1,897	1,718	1,735	1,562	1,598	1,570	1,632	1,740	1,830
		増減	0	0	0	0	1	△ 33	△ 18	12	25	0
物 件 費	1,424	新計画	1,595	1,577	1,592	1,635	1,688	1,705	1,730	1,746	1,753	1,761
		見込(実績)	1,595	1,577	1,592	1,635	1,772	1,919	1,991	2,000	1,822	1,761
		増減	0	0	0	0	84	214	261	254	69	0
投 資 的 経 費	243	新計画	403	639	939	809	878	900	900	900	900	900
		見込(実績)	403	639	939	809	888	948	834	748	1,000	900
		増減	0	0	0	0	10	48	△ 66	△ 152	100	0
下 水 道 事 業 繰 出 金	1,664	新計画	1,623	1,539	1,481	1,421	1,325	1,158	990	950	940	920
		見込(実績)	1,623	1,539	1,481	1,421	1,325	1,135	928	844	831	920
		増減	0	0	0	0	0	△ 23	△ 62	△ 106	△ 109	0
病 院 事 業 繰 出 金	609	新計画	620	700	800	800	800	900	900	900	900	900
		見込(実績)	620	700	800	800	800	1,150	1,145	900	900	900
		増減	0	0	0	0	0	250	245	0	0	0
そ の 他	2,687	新計画	3,424	3,353	2,987	3,120	3,438	3,425	3,281	3,292	3,323	3,334
		見込(実績)	3,424	3,353	2,987	3,120	3,397	3,371	3,299	3,342	3,363	3,334
		増減	0	0	0	0	△ 41	△ 54	18	50	40	0
歳 出 計	12,748	新計画	13,114	13,154	12,906	13,003	13,177	13,220	12,901	12,931	13,034	13,163
		見込(実績)	13,114	13,154	12,906	13,003	13,294	13,743	13,415	13,182	13,399	13,163
		増減	0	0	0	0	117	523	514	251	365	0

歳入歳出差引	689		613	249	297	9	△ 18	△ 321	153	△ 8	0	△ 87
うち行革改善額		新計画	(144)	(227)	(399)	(326)	(408)	(542)	(552)	(572)	(581)	(588)
財調・減債基金残高	1,847		2,345	2,618	2,692	2,621	2,603	2,282	2,435	2,427	2,427	2,340
歳入歳出差引			613	249	297	9	164	△ 538	89	398	△ 669	△ 87
うち行革改善額		見込(実績)	(144)	(227)	(399)	(326)	(513)	(647)	(837)	(811)	(581)	(588)
財調・減債基金残高			2,345	2,618	2,692	2,621	2,655	2,100	2,112	2,138	1,469	1,382
財調・減債基金残高		増減	0	0	0	0	52	△ 182	△ 323	△ 289	△ 958	△ 958

## 【財政収支見通しの前提条件】

計画期間中の収支見直しについては、当初、平成 24 年度当初予算をベースに算定しましたが、平成 27 年 12 月に下記の条件により平成 27 年度以降分について見直しを行ったものに、次の前提条件のもと、普通会計の一般財源ベースで令和 2 年度までの 10 年間における財政収支見込を見直し、試算しています。今般、平成 30 年度決算見込み額が固まり、令和元年度の最新情報も加味しています。

## 【歳入】

---

市税	平成 26 年度決算額に生産年齢人口や実質経済成長率の増減率を反映させ試算。固定資産税は評価替え年度等、過去の増減実績を考慮。
地方交付税	基準財政収入額は、市税及び交付金等の増減率を、基準財政需要額は、事業費補正を反映。
譲与税・交付金	税制改正と生産年齢人口推計及び実質経済成長率の増減率を反映。
その他収入	臨時財政対策債を含み、土地売払収入以外は平成 29 年度以降同額。

## 【歳出】

---

人件費	平成 27 年度以降は退職による欠員を一部不補充として採用を行い、6 名を削減するものとして試算。
扶助費	社会保障関係費の増減見込みや生産年齢・高齢者・15 歳未満各人口推計等を反映させ試算。
公債費	既発債は起債償還計画を基に試算し、新発債は臨時財政対策債を平成 28 年度予算額で固定し、投資的事業にかかる起債は毎年度 6 億円で試算。ただし、老朽施設耐震化工事を除く。
物件費	生産年齢人口推計と実質経済成長率の増減率を反映。
投資的経費	普通建設事業費及び政策的経費総額を平成 28 年度以降 9 億円。
下水道事業繰出金	下水道事業会計収支計画による。
病院事業繰出金	平成 25～27 年度を 8 億円、平成 28 年度以降を 9 億円。
その他	実質経済成長率や生産年齢・高齢者人口推計等を反映させ試算。 国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療各特別会計に対する繰出金及び産業振興促進奨励金等補助費等並びに維持補修費等を含む。

人口推計： 加西市地域創生戦略 パターン 3（独自推計：合計特殊出生率が上昇するとともに、純移動率が平成 2 年-平成 7 年の水準に回復し、さらに定住促進等により若者等の転入が増加すると仮定した場合）により推計した数値を使用

経済成長率：平成 27 年 7 月に提出された内閣府の「中長期の経済財政に関する試算」のベースラインケース（経済が足元の潜在成長率並み推移を想定した場合）を使用

## 第 2 回部会 外部評価（2 次評価）実施要領

## 外部評価（2 次評価）の進め方

**（1）部会での検討（60 分）**

- ① 市民の視点から各施策について別紙「総合計画施策評価一覧」を使い、内部評価（1 次評価）の総合評価（5 段階評価）と同様の基準で評価する。  
評価方法は、施策毎の内部評価（1 次評価）が妥当であるかを検討し、施策評価一覧の総合評価欄に S から D を書き込んでいく。
- ② 各施策に対する意見・提案等のコメントを出していく。

**（2）全体会での検討（30 分）**

- ① 各部部长より評価報告
- ② 全施策において下記のいずれかの条件にあてはまる施策の意見交換
  - ・ 条件 1 外部評価（2 次評価）案が C、D となる施策
  - ・ 条件 2 内部評価（1 次評価）と外部評価（2 次評価）案で大きく乖離のある施策（例）内部評価が A で、外部評価が C など、内部評価より外部評価が 2 段階以上低い施策

※ 2 次評価の検討に意見が分かれる案件等で時間を要する場合は、別途調整するものとし、第 4 回市民会議で最終確定させる。第 4 回市民会議に向けての 2 次評価にかかる一連の調整作業の進め方などは、会長に一任するものとする。

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	半年(H30)	最終(R2)				H30取組状況				課題と今後の取組
1	誰もが学べる学習環境づくり	1	5-88	5	教育委員会	生涯学習課	②	B	85	78	B	②	B	公民館活動の活性化を図り、広報からSNSまで様々な媒体を活用し生涯学習情報の発信を行いました。また、7校区の学校で、地域団体と連携して、土曜日に教育活動事業等を実施し、多数の児童が参加しました。図書館では各種イベントの充実を図るとともに、各学校と連携して団体貸出送サービスや読み聞かせの出前講座等を実施しました。 市民会館では、利用者に気持ちよく利用いただけるよう丁寧な案内や清掃にも努めると同時に、自主事業の内容を工夫したことや種類が増加したことにより、利用者からも好評を得ています。加西市文化祭についても、例年以上の出品数がありました。	B	自主的に学ぶ公民館登録グループの高齢化と固定化が進み、解散する団体も出てきているため、公民館主催講座を契機とし、自主的なグループ活動へ移行するプログラム作りに努めます。また、図書館については、今後さらに学校図書館との連携を強化し、図書資料の充実や、各種イベントの充実にも足運んでもらえるよう図書館に来館する習慣のない人にも足を運んでもらえるよう図書館サービスの拡充を進めます。	B	加西市文化祭は人気を集めており、是非続けてもらいたい。土曜チャレンジ学習事業は他市では各学校で開催しており、より多くの参加となるようさらに工夫いただきたい。図書館の来館者数は多いのだが、駐車場での事故やトラブルなどの課題がある。
		2		6	教育委員会	生涯学習課	②	B	58	43	B	②						
		3		7	教育委員会	図書館	②	B	92	88	B	②						
		4		8	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	104	104	A	②						
		5	5-83	9	教育委員会	総合教育センター	②	S	140	140	A	②						
1	主体的な青少年活動	1		11	教育委員会	総合教育センター	②	B	88	70	C	②	B	各事業を通して市内の若者団体との交流を図っています。加西サイサイまつり、成人式等の企画運営に携わるほか、ジュニアリーダー教室等の指導者として参加しました。また、今年度も加西サイサイまつりでの企画「お化け屋敷大作戦」や「新春のつどい」を継続して実施し、多くの参加者がありました。	B	青年連絡会の会員数減少に伴い、参画する事業の数が減少しているため、会員数の増加と事業の活性化が望まれます。また、青少年団体連絡協議会の登録者数は、進学や就職に伴って会員数が減少しており、一度離れた会員の再加入や新規会員の獲得につながるような広報活動が必要です。		
		2		12	教育委員会	総合教育センター	②	B	75	60	B	②						
1	地域で楽しめる体力づくり	1		13	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	97	96	B	②	B	加西南多目的広場やぜんぼうグリーンパーク各種設備などの体育施設の修繕を行い、利用者の利便性を向上させました。また、スポーツフェスティバルとして、沢松奈生子氏によるテニス教室と講演会を開催しました。その他、各種スポーツ教室を開催し、昨年に引き続き多くの方に参加してもらいました。	B	市民のスポーツ実施率向上のため、市内スポーツ団体や指定管理者と連携し、子どもから大人まで、幅広い年代が参加できるスポーツ教室やイベントを開催していく必要があります。また、老朽化した体育施設の延命化を図るため、随時老朽箇所の修繕が必要となっています。		
		2		14	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	89	82	B	②						
		3		15	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	91	82	C	②						
1	出会いを求める若者の応援	1	1-17	17	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	35	35	C	②	B	平成29年10月に民間事業者に委託して開設した出逢いサポーターセンターでは加西市商工会議所青年部と連携した婚活セミナーや婚活イベントを開催しており、平成30年5月より、仲人役となる「出逢いサポーター」の養成など、出逢い支援に向けた新たな事業を展開しました。	B	出逢いサポーターによるマッチングによって、成婚となったカップルができました。今度も成婚を増やしていくために、婚活イベント参加者に登録を促し登録者を増やしていきます。また、職域交流については、引き続き、商工会議所と連携していきます。		
		2		18	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	400	200	B	②						

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く達成、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)			市民会議意見(2次評価)			
					部名	課名		区分	半年(H30)	最終(R2)			総合評価	H30取組状況	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等		
																		最終とりまとめ	
2	5	特色ある教育	1	5-82	19	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	67	B	②	B	<p>小中連携教育が積極的に推進されるよう、引き続き、小中合同研修会や相互授業参観、さらには、小・小もしくは小中の合同授業や合同交流会を実施しました。また、幼稚園、こども園、特別支援学校及び公民館活動等へ、ALTの派遣を行い、幅広い外国語教育の展開を具現化しました。</p> <p>大学や県立教育研修所などの関係機関と連携し、英語や道徳の教科化に向けた研修をはじめ、教職員のキャリアステージやニーズに応じた研修を実施しました。</p> <p>北条高校の活性化について、幅広いジャンルから優れた講師を選出し講演をさせていただく「講演会事業」を新たに実施し、生徒だけでなく多くの保護者や地域住民を高校へ呼び込み、地域における文化活動の拠点として学校を位置付けることを目指しました。</p>	B	<p>令和2年より始まる小学校外国語の教科化を見通して、小学校教員の外国語活動における指導力の向上を図るための研修を充実させます。また、特別支援教育においては、校内支援体制のさらなる充実や切れ目のない支援体制の整備に向けて、市内の資源を活用し各関係機関との連携をさらに進めていきます。</p> <p>令和元年度入学の募集定員において、残念ながら普通科が1クラス減となりました。令和2年度入学には1クラス増となるよう、兵庫県教育委員会へ引き続き要望活動をするだけでなく、北条高校活性化協議会が実施する他の事業についても見直しを行い、北条高校の生徒確保及び活性化を進めていきます。</p>	B	<p>部活動の指導については、働き方改革の中、外部人材の顧問就任が可能になるなど時代の流れであるが、しっかり研修等をお願いしたい。</p> <p>地元普通科高校以外の支援についても、通学の利便性のため北条鉄道の列車交換設備の整備など進められているが、バランスよく、忘れないようにしてもらいたい。</p>
			2		20	教育委員会	学校教育課	②	A	100	86	B	②						
			3		21	教育委員会	教育総務課	②	B	92	67	B	③						
			4		22	教育委員会	学校教育課	②	A	100	100	B	②						
			5		23	教育委員会	学校教育課	②	A	100	100	B	②						
			6	5-86	24	教育委員会	総合教育センター	②	S	113	113	B	②						
			②					A	100	100									
					7	5-85	25	教育委員会	学校教育課	②	B	33	33						
		8	5-87	26	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	112	103	B	②							
2	6	安全安心で潤いのある学校	1	5-84	27	教育委員会	教育総務課	③	—	—	100	B	①	C	<p>特別支援学校感覚学習室・体育館改修工事、加西中学校職員トイレ棟改修工事の設計を行いました。</p> <p>南部学校給食センター改築工事については、補助事業の未採択に伴い、未実施となりました。</p>	B	<p>昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて平成27年度までに改修を完了しましたが、それ以降に建設された建物は、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。</p>		
								③	—	—	100								
								③	—	—	100								
			2		28	教育委員会	教育総務課	②	B	10	8	C	②						
		3		29	教育委員会	教育総務課	②	A	100	0	C	②							
2	7	地域に開かれた学校づくり	1	6-93	31	教育委員会	学校教育課	②	S	101	98	B	②	B	<p>ゲストティーチャーに限らず、学校の業務改善につながる地域人材の活用や確保を推進します。オープンスクール等の実施内容を充実させ、地域住民への周知方法を検討し、地域に信頼される学校づくりに繋げていきます。</p> <p>学校が地域の交流の場となることが期待される中、活動しやすい環境づくりを進めていくことが課題です。</p>	B	<p>オープンスクールの参加者は学校により差があり、PRを充実させるとよい。学校は地域の中心といえ、コミュニティの核になるような努力を重ねていくべきである。</p>		
			2		32	教育委員会	総合教育センター	③	—	—	100	B	①						
			3		33	教育委員会	学校教育課	②	B	92	80	C	②						

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く達成、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)					市民会議意見(2次評価)					
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	H30取組状況	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等
								区分	単年(H30)	最終(R2)							
3	裾野の広い農業の育成	1	4-65 3-60	35	地域振興部	農政課	②	A	100	67	A	②	裾野の広い農業を育成するため、「かさい農業塾」の開催、特産品普及推進、市民農園の整備、新規就農の受け入れ促進、法人化を検討する組織との協議、認定産業者ならびに「農業法人による利用集積の加速等を行い、JA兵庫みらいが特産化を目指すアスパラガスは、アスパラ部会も設立され生産者も121に増加しました。また、新たにトマト農家が就農し、加西市では初めての尖端型の就農となりました。	市民農園については、関係機関へのPRだけでなく、都市農村交流に係る多様な取り組みを通して様々な媒体を使ったPRが必要であると考えています。 新規就農支援策では、市外の新規就農者にとっては、農地・住居の選定に時間を要することが多く、新規参入しやすい空き農地や空き家の情報収集に努めています。 また、大規模施設開園のみに拘らず、新技術の裾野を広げていくための取り組みを推進していきます。一方、味に拘り土耕栽培を行ってきた「加西とまと」「加西いちご」等の生産者が加西産産物のブランドを作り上げてきましたので、両者のバランスを考えながら相乗効果を出せるような方向性が必要です。			
							②	S	150	150	A						
		2	2-46	36	地域振興部	農政課	②	S	150	100	A	②					
							②	B	78	67	C						
		3	3-62 2-47	37	地域振興部	農政課	②	B	50	50		②					
							②	A	100	100							
		4	2-49 2-50	38	地域振興部	農政課	②	S	250	250	B	②					
							②	A	100	100							
5		39	地域振興部	農政課	②	S	160	106	S	②							
6		40	地域振興部	農政課	②	A	100	100	B	②							
7	2-48	41	地域振興部	農政課	②	B	0	0	C	②							
8	3-59	42	ふるさと創造部	人口増政策課	②	—	—	—	D	②							
3	地域資源を活用した産業振興	1	4-66	43	地域振興部	農政課	②	B	80	60	B	②	加西インター産業団地整備について、整備対象となる土地の所有者の合意形成を図るため説明会や個別交渉を行いました。また、1工区の整備工事実施設計を行ったほか、農村地域産業導入実施計画の策定、産業振興地域整備計画による総合見直し、優先交渉事業者の募集を行いました。 市内企業の拡張支援について、市街化調整区域の産業促進を図るため、「鶴野飛行場跡地東部産業拠点地区」「鶴野上町産業集積地区」、「東高室次世代へのまちづくり産業立地促進地区」及び「加西インター産業団地地区」において、地区計画を策定しました。また、市街化区域である「中野・下宮木地区」において、市街化を促進するため用途地域の変更を行いました。 産業振興を図るため、加西商工会議所と連携し、各種ビジネス講座や個別相談会等の地域経済の活性化を目指した多彩な事業を開催、ポイントカード事業や市内共通商品券事業等を実施し市内消費の喚起に努めました。 低利子かつ保証料補助等を行う市の中小企業制度融資を実施し、市内中小企業への運転資金や設備投資のための融資をあっせんしました。商業施設誘致についての調査・研究も引き続き行っています。	加西インター産業団地について、優先交渉事業者と契約に向けて交渉を行い、同事業者が万全のスタートをきるよう、必要な事務手続きを踏まえ1-2工区の造成工事に着手します。 市内企業の拡張支援について、特別指定区域制度及び地区計画制度を活用し、地域の実情に沿った適切な制度の選択による規制緩和に取り組みます。 産業振興策による地域経済の活性化については、今後の急速な人口減少により縮小するマーケットを補完するため、さらに効果的な事業運営を図ります。 中小企業制度融資や創業支援事業等、他市町及び県の制度の動向等をみながら、制度のあり方を研究していきます。また、金融機関と調整会議を開催し、ニーズの把握に努めていきます。 시가誘致したビジネスホテル「ルートイン加西 北条の宿」がH30年12月オープン。さらなる街の賑わいの創出の機会として、地域経済の循環と持続性を高めるため、商業における事業環境の整備や地域課題の解決に向けたさらなる取り組みの支援を図ります。			
							②	S	160	160	A						
		3	2-52	45	地域振興部	産業振興課	②	B	99	97	B	②					
							②	S	105	96	A						
		4	3-57	46	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	107	94		②					
							②	S	102	100	B						
		5		47	地域振興部	産業振興課	②	S	102	100	B	②					
		6	4-67	48	地域振興部	産業振興課	②	B	99	97	B	②					
		7	2-39 4-68	49	都市整備部	都市計画課 開発推進課	②	未発表	未発表	未発表	B	②					
8		50	地域振興部	産業振興課	③	A	100	100	B	①							
9	3-56	51	地域振興部	産業振興課	②	S	102	100	B	②							
3	加西に住んで働ける就労支援	1	2-37	53	地域振興部	産業振興課	②	S	101	98	B	②	兵庫県、大阪府、岡山県、鳥取県の兵庫県出身者の多い3大学を訪問し、Uターン、Iターンへの推進に努めるとともに、兵庫労働局との雇用対策協定のもと、加西市雇用開発福祉協議会、ハローワーク西脇、加西市雇用開発福祉協議会等の関係機関と連携して、各種就職支援に取り組んだほか、女性や社会的弱者に対する相談体制を充実しました。 また、産業競争力強化法に基づく創業支援計画により、ワンストップ相談窓口(産業振興課)、かさい創業塾(加西商工会議所)、創業支援相談窓口(加西商工会議所)等の創業希望者に対する支援を行いました。 その他、Uターン者の支援として交付しているUターン促進補助金について、申請者が昨年より増加し、継続申請者数が185人、新規申請者数が46人、合計231人のUターン者に対し当該補助金を交付しました。	全国的な人手不足により、地方の中小企業の人材確保が厳しい状況にあるため、大学訪問や様々な媒体による市内企業のPRやハローワーク西脇と協力して、加西市内で保育分野、介護分野の就職面接会(説明会)を実施します。また、令和元年から、インターンシップ雇用促進モデル事業を始め、地方の大学生がUターンによる就職を考える機会を設けます。 街角コンサート事業については、観客席数も限られており、観客数が思うように伸びていません。一定の周知がされている現在の形をベースにしつつ、新たな開催場所等について検討します。			
							②	B	83	76	B						
		2		54	地域振興部	産業振興課	②	B	73	68	B	②					
							②	B	79	75	B						
		3	2-34	55	地域振興部	産業振興課	②	B	83	76	B	②					
							②	B	0	0	B						
		4	2-38	56	地域振興部	産業振興課	②	B	0	0	B	②					
		5	2-32	57	地域振興部	産業振興課	②	S	107	91	B	②					
		6	2-33	58	地域振興部	産業振興課	②	B	96	90	B	②					
		7	2-36	59	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	80	56	B	②					
8	2-41	60	ふるさと創造部	ふるさと創造課 文化・観光・スポーツ課	②	B	40	40	C	②							
					②	B	66	66									
9	2-42	61	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	20	20	C	②							
10	2-45	62	地域振興部	産業振興課	②	S	171	171	B	②							
3	加西らしい観光サービス	1		63	教育委員会	生涯学習課	②	S	215	187	S	②	市指定文化財として3群(11建物)を新指定し、文化財説明看板を4基新設しました。また、市指定に先立ち酒見寺建造物群の実測、「加西市歴史文化遺産保存活用計画(仮)」策定の事前調査として腰石積建物等調査を実施しました。 鶴野飛行場跡へツアー企画を実験実施し、400人の想定を上回る560人超が訪れ、関心の高さが見えました。「かさいまちあそび」従来の事業に加えて、事業の企画・運営能力、内部コミュニケーションの向上を図るセミナーを開催しました。	令和元年度に策定予定の「加西市歴史文化遺産保存活用計画(仮)」に基づき、今後は包括的な文化財の指定を進め、歴史文化遺産を活かしたまちづくりを推進します。 鶴野飛行場跡は、生活圏にあるため地域の理解が必要です。「かさいまちあそび」については、市民活動団体の育成を継続していきます。また、まちあそびの周年開催に向けて、団体を育成します。Wifiは、拡充設置に向けて検討します。			
							②	S	189	170	B						
		3	3-58	65	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	103	89	A	②					
							②	B	98	88							
		4		66	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	86	86	C	②					
		5	2-51 6-92	67	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	88	89	B	②					
		6	3-54	68	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	167	100	S	①					
7	3-55	69	ふるさと創造部	人口増政策課	②	—	—	—	D	②							

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】…①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】…S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】…S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】…①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】…S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H30)	最終(R2)				H30取組状況	課題と今後の取組			
4-12	魅力ある中心市街地の形成	1	71	総務部	管財課	②	B	0	0	B	②	A	<p>北条西保育所跡地については、早期に境界確定を行い、登記事務を完了の上、売却事務を進めます。旧庁舎近隣にホテルが開業したため、今後の周辺土地利用の需要を考慮して効果的な跡地利用を検討していきます。</p> <p>西高室土地区画整理事業について、事業計画の変更・認可後に換地処分が完了し、事業が完了する予定です。</p> <p>中野町上山地区において、まちづくり協議会と協働し、引き続き良好で利便性の高いまちづくりを積極的に推進します。</p> <p>空き家・空き店舗の活用について、ハード面での整備を継続しながら、行政や地域住民等の協力が不可欠であり、4か所のモデル拠点相互に連携できる関係づくりが必要ですので引き続き側面支援を行っていきます。</p> <p>また、空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度について、更なる制度周知を図るとともに、創業支援事業についても、関係機関と連携した取り組みを進めていきます。</p>	A	<p>ホテルの開業に伴い、旧庁舎や旧商工会議所の有効な活用方法を検討する必要があります。</p> <p>空き家・空き店舗については需要と供給が合っていないように思う。需要を高めるためには加西市全体として魅力を高め、加西市に住みたいから空き家を探すというような仕組みづくりが必要である。</p>			
		2	1-31	72	都市整備部	開発推進課	②	S	125	100	A					②		
		3		73	都市整備部	都市計画課	②	B	70	70	C					②		
		4	2-40	74	地域振興部 ふるさと創造部	産業振興課 人口増政策課	②	B	87	87	B					②		
		2-43	②				B	0	0									
		2-44	②				B	33	20									
		5	4-77	76	地域振興部	きてみて住んで課	②	S	180	180	S					②		
		6	1-25	77	都市整備部	都市計画課	②	—	—	—	C					②		
		7・8	1-27	78	ふるさと創造部	人口増政策課	③	—	—	151	S					①		
		9	1-28	79	ふるさと創造部	人口増政策課	③	—	—	98	B					②		
		10	4-74	80	地域振興部	きてみて住んで課	②	S	200	200	S					①		
11	4-78	81	都市整備部	都市計画課	②	S	130	100	A	②								
4-13	周辺地域の定住促進	1	83	ふるさと創造部 地域振興部	ふるさと創造課 きてみて住んで課	②	B	0	0	C	②	B	<p>平成30年度に総務部で実施した市内建物等実態調査で利活用可能な空き家を抽出し移住・定住に資する支援策を検討します。</p> <p>新婚世帯向け家賃補助制度、若者世帯持家補助制度を継続して実施します。定住促進施策として、産業(工業)団地及び市外在住者等へ制度の周知を図ります。</p> <p>令和元年度に宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しを行います。また、定住促進を図るため地域活力維持定住補助制度を活用していきます。</p> <p>尾崎町北条高校前地区における住宅団地整備事業を完成し、早期の分譲完了を目指します。</p> <p>加西インター産業団地地区において、農村地域産業導入計画に基づき、ほぼ整備事業と整合を図りながら、積極的に事業を推進して行きます。</p> <p>新婚世帯向け家賃補助制度及び若者世帯定住促進住宅補助制度を活用し、若者世帯の流出を防ぐとともに、加西市への定住促進施策として、産業(工業)団地及び市外在住者等へ周知徹底していきます。</p>	B	<p>宇仁小学校グラウンド跡地活用土地利用計画について、地域のニーズ調査を行うなど、よく検討する必要があります。</p> <p>鶴野飛行場跡地周辺を観光スポットにするのであれば、観光客が来やすいように交通アクセスを整備することが必要である。</p>			
		3-64	②			S	237	166										
		4-76	②			B	33	20										
		2		85	都市整備部	都市計画課	②	B	67	40	C					②		
		3	1-26	86	地域振興部	産業振興課	②	S	229	206	A					②		
		1-30	②				B	77	71									
		4	4-75	87	都市整備部	開発推進課 都市計画課	②	A	100	100	B					②		
		5	3-53	88	ふるさと創造部	鶴野未来課	②	A	100	50	B					②		
		6		89	都市整備部	都市計画課	②	A	100	100	B					②		
7	1-24	90	都市整備部	都市計画課	②	B	63	48	C	②								
8	1-29	91	ふるさと創造部	ふるさと創造課	廃止	廃止	廃止	廃止	廃止	廃止								
9	2-35	92	地域振興部	きてみて住んで課	②	S	167	167	A	②								
4-14	公共交通網の構築	1・2 6・9	1-1 4-69 4-71	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	126	101	B	②	B	<p>地域公共交通網形成計画に定める目指すべき公共交通サービスの構築に向け施策を進めます。</p> <p>また、広域幹線バスのフーダー路線となるコミバスの利用促進や地域主体型交通の導入の推進、市内の施設情報などの充実、老朽化している鉄道施設や安全輸送設備を適切に整備更新していきます。</p> <p>コミバス利用者の新規開拓として特に子育て世帯への利用促進を行います。</p>	B	<p>地域間でバスの路線が多い地域と少ない地域に格差がみられる。</p> <p>通学での利用客が減少傾向にあるため、対応策を検討する必要がありますが、妊婦及び未就学の子ども保護者について、コミュニティバスの運賃を無料化したことにより、利用客が増加したことは良い傾向であるので、継続して推進し利用客を増やしてほしい。</p>			
		3	1-1 4-71			②	S	126	101							B	②	
		4	1-1 4-69 4-71	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	126	101	B	②							
		5	4-69			②	B	89	87									
		7・8	1-1 4-69 4-71	②	S	126	101	B	②									
4-15	住みよい住環境	1	99	都市整備部	都市計画課	②	S	101	97	B	②	B	<p>都市公園等については指定管理者と協働し、利用者数となる増加に向けての取り組みや、遊具等施設の経年劣化に対する迅速な修繕対応を行い、更新についての検討を進めます。また、丸山総合公園の老朽化したウッドデッキについて、撤去も視野に入れた対策を検討していきます。平成30年度に撤去した塩田地西側の東屋周辺のウッドデッキについては、令和元年にインターロッキング舗装と転落防止柵の整備を行います。</p> <p>道路・河川の整備や橋梁の修繕等を計画的に進めます。</p> <p>また、史跡整備・活用については、補助事業のため、国・県の状況によりスケジュールの遅れが発生しており、国・県とスケジュールを調整し整備計画を変更する必要があります。</p>	B	<p>基幹道路整備について進捗状況が悪く、国の予算次第の部分もあると思うが、長期間を要している基幹道路整備の残り部分の早期完成をお願いしたい。</p>			
		2	100	教育委員会	生涯学習課	②	A	100	50	B	②							
		3	4-70	101	都市整備部	土木課	②	B	24	13	C					②		
		4	102	都市整備部	土木課	②	B	98	96	B	②							
		5	103	都市整備部	土木課	②	S	107	64	B	②							
		6	104	都市整備部	土木課	②	B	40	29	C	②							
		7	105	都市整備部	土木課	②	B	33	20	C	②							

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	半年(H30)	最終(R2)				H30取組状況	課題と今後の取組			
5-16	社会参加を通じた生きがいづくり	1		107	教育委員会	生涯学習課	②	S	120	115	S	②	B	高齢者講座について、運営委員会の自主運営で事業を実施している講座では、企画に参画するなど、活性化しています。障がい者サロンは新規2団体を含め、計8団体による実施となり、障がい者フォーラム等の新規事業を実施することができ、内容に幅が出てきました。社会参画機会の拡大と環境づくりを進めるため、障害者就労支援員と連携し、窓口での就労支援のほか、ハローワークや特別支援学校、関係事業所と連携しての就労支援、定着支援の実施や市役所内外における職業訓練事業による就労支援や庁内バザーを継続して実施しました。	引き続き、魅力ある講座の開催や情報提供を図るとともに、高齢者の知識や技能を活かし、社会参加や地域貢献の一助となる講座を開催し、学習や仲間づくりに終始しない学級運営を目指します。「生き生き元氣塾」は参加者も増え、高齢者の健康増進に資する役割を果たしているが、ボランティアの確保にはつながっていません。障がい者サロンについては、参加人数も徐々に増加していますが、今後も広報等を行い新規参加者を増やしていきます。また、障害者雇用に不安を持つ企業も存在するため、そのような企業に対し、一般就労の拡大や雇用継続を図る支援を行っていきます。就労支援員と連携し、特別支援学校の生徒の進路指導を支援します。	B	高齢者の就業機会は一定程度あるが、企業での雇用延長を選択する人が増えてきたため、シルバー人材センターの会員数が減ってきている。シルバー人材の活用方法について再度検討する必要がある。	
		2		108	健康福祉部	長寿介護課	②	B	74	68	C	②						
		3		109	健康福祉部	長寿介護課	②	B	58	51	C	②						
		4		110	健康福祉部	地域福祉課	②	S	107	103	A	②						
		5		111	健康福祉部	地域福祉課	②	S	101	95	B	②						
		6	3-61	112	ふるさと創造部	人口増政策課	②	—	—	—	D	②						
5-17	こころとからだの健康づくり	1	5-80	113	健康福祉部	健康課	②	B	83	74	B	②	B	がん検診無料クーポンの配布と未受診者の動員を行ったほか、特定健診の無料化を実施し、老人会と連携した受診促進を行いました。また、健幸ポイント事業の参加者数が1,500人となり、県庁フラワースタンプの導入や北条鉄道の利用をポイント付対象に加え、ウォーキングイベントや加西市ラジオ体操などのポイント付イベントも充実させ、健康づくりの環境整備を進めました。	予防接種の助成制度について、本来任意予防接種は定期接種と違い、接種の努力義務がないため個別通知を行いますが、対象者へ確実に情報を届けるために個別通知を実施しました。その効果もあり1歳6か月児健診アンケートでは多くの保護者に周知できていることを把握しました。今後も広報だけでなく個別通知を継続し、接種希望者が利用しやすい事業にします。また、今後もおたふくかぜの予防接種の継続と高齢者への任意予防接種として定期予防接種対象年齢外の肺炎球菌予防接種の助成を継続します。また、平成30年度に自殺対策計画を策定し、全庁的な取り組みとして、庁内横断的に、関係者との連携・協働によりさらに対策を推進していきます。			
							②	S	111	106								
							②	B	91	77								
		2	1-2	115	健康福祉部	健康課	②	A	100	100	B	②						
		3	—	116	健康福祉部	健康課	②	—	—	—	C	②						
							②	B	65	62								
		4		118	健康福祉部	健康課	②	S	101	98	B	②						
		5		119	健康福祉部	健康課	②	B	91	83	C	③						
		6		120	健康福祉部	健康課	②	S	120	114	A	②						
7	—	121	健康福祉部	健康課	②	—	—	—	B	②								
					②	—	—	—										
					②	B	96	107										
8	1-19	123	健康福祉部	健康課	②	B	61	55	C	②								
9	5-79	124	健康福祉部	健康課	②	S	150	150	A	③								
5-18	地域医療体制の充実	1		125	加西病院		②	B	0	0	C	②	C	信頼される病院づくりに努めるため、中学生向けの救急救命講習や住民向けの病院出前講座などを実施するとともに、循環器内科の開業医・救急向けホットラインを運用し、急変した患者さんの早期受け入れを促進しました。また、市立加西病院の将来のあり方を検討する市立加西病院将来構想検討委員会を開催しました。その他、電子カルテシステムを更新し、患者さんのニーズに合わせてクレジット払い、夜間救急時の清算支払いを実施するとともに一部医療機器の充実を図りました。また、加西市医師会による休日診療、加西市歯科医師会による年末年始の休日歯科診療を実施しました。	平成29年度に地域の方々で構成された、加西病院サポーターの会が結成され、病院内でのボランティア活動や院外での病院認知度向上の活動をしてもらっており、積極的に協力して親しまれる。選ばれる病院づくりを進めるとともに、加西市将来構想検討委員会での病院の在り方の検討を進めます。紹介患者数は11.7%増加しましたが、救急受入増等患者数の増により紹介率、逆紹介率は低下しました。今後も開業医との連携を強化して入院患者数の増を図ります。また、はりま姫路総合医療センターが令和4年にも開設される予定であり、同センターとも機能連携協議を開始します。身近にある病院としての救急の受入、可能な急性期医療の提供、地域包括ケア病棟の活用により、開業医と連携を深めて地域医療の充実を図ります。			
		2		127	加西病院		②	B	97	89	C	②						
		3		128	健康福祉部	健康課 福祉企画課	②	B	94	89	C	③						
		4		129	健康福祉部	福祉企画課 健康課 長寿介護課	②	B	0	0	C	②						
		5		130	健康福祉部	健康課	②	A	100	100	B	②						
		6	1-4	131	ふるさと創造部	人口増政策課	②	—	—	—	D	②						

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】…①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】…S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】…S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】…①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】…S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H30)	最終(R2)				H30取組状況	課題と今後の取組			
6-19	地域で支え合う安心の暮らし	1		133	健康福祉部	長寿介護課 地域福祉課 福祉企画課	②	S	116	108	B	B	地域の介護予防リーダーの養成について、社会福祉協議会と共催により、生活支援サポーター養成講座と共通講座(2回)を設けて、年に1度全4回の講座を開催し、延べ120名の参加がありました。 また、各小学校区ごとに1町選出し、あったか声かけ作戦を実施しました。キャラバン・メイトによる認知症サポーター養成講座を行い、その後、住民らによる寸劇や声かけ体験を実施し、行方不明の人がいたらどのように対応したらよいかを学びました。	配食サービスについて、令和元年度より一定の要件を満たす民間事業者を含めた加西市登録配食事業者からの配食サービスに利用助成を行います。また、登録された事業者をネットワーク化することで助成事業に該当しない高齢者等にもより安心して安全な食事の選択の幅を拡大し、利便性を確保することにつなげます。 高齢者の移動手段確保のニーズが高まっていますが、公共交通との積み分けが課題となっています。関係機関と調整のうえ、総合的な移送サービス事業を検討していきます。				
				135	健康福祉部	長寿介護課	②	B	87	87	C							
				136	健康福祉部	長寿介護課 地域福祉課	②	B	52	52	C							
				137	健康福祉部	長寿介護課	②	S	119	100	A							
				5-81	138	健康福祉部	長寿介護課	②	B	25	13						C	
				139	健康福祉部	長寿介護課	②	A	100	100	B							
6-20	防犯・防災のまちづくり	1	5-89	141	総務部	危機管理課	②	B	84	82	C	B	資機材整備補助制度の見直しによる消防関係の資機材を中心とした補助申請が増え、新たに11団体に対して補助を行いました。 また、通学路防犯灯を増設し、児童の安全対策を図るため、LED防犯灯を自治会申請、通学路設置含めて59灯を設置しました。また、防犯カメラは、市設置を8基、自治会設置を9基設置しました。	災害時要援護者の登録について、平成31年2月時点で災害時要援護者数1,198名(+39)、支援不要と回答があった未登録要援護者746名(+18)、支援希望の有無について回答がない潜在要援護者244名(+13)となっており、台帳登録率に変化がないため、今後、福祉委員(民生委員)の協力も得ながら、支援希望の回答のない方にアプローチしていきます。 また、老朽危険空き家問題に取り組むため、令和元年度に空家等対策計画の策定を行うほか、消防団のあり方についても継続して検討します。				
				142	総務部	危機管理課	②	B	44	38	C							
				143	総務部	危機管理課	②	S	325	260	C							
				144	総務部	危機管理課	②	S	102	97	B							
				145	総務部	危機管理課	②	A	100	100	B							
				146	総務部	危機管理課	②	A	100	100	B							
				147	総務部	危機管理課	②	S	203	122	A							
6-21	安心できる子育て支援	1	1-6	149	教育委員会	こども未来課	②	B	67	80	C	B	ひろば事業については、来園者数が減少傾向であることより、今後は、出張広場のように他施設や地域に積極的に出向いて、働きかける必要があります。 学童保育や公立の認定こども園において、待機児童が発生しています。放課後児童支援員や保育士の確保が課題となっています。 学童保育については、児童が安全に生活できるよう富田学童保育園舎を拡充するなど環境整備に努め、指導員の研修会を計画的に開催し、毎月の連絡会とともに、指導員の共通理解を深めました。 平成30年度も昨年同様、4-5歳児の保育料を無償化し、負担軽減を実施しました。病児・病後児保育事業については、平成30年度より月曜日から土曜日の開設としました。 また、働き方改革セミナーとして、有給や産休、育休の取得促進に関するセミナーを実施しました。	ひろば事業については、来園者数が減少傾向であることより、今後は、出張広場のように他施設や地域に積極的に出向いて、働きかける必要があります。 学童保育や公立の認定こども園において、待機児童が発生しています。放課後児童支援員や保育士の確保が課題となっています。 学童保育については、児童が安全に生活できるよう富田学童保育園舎を拡充するなど環境整備に努め、指導員の研修会を計画的に開催し、毎月の連絡会とともに、指導員の共通理解を深めました。 平成30年度も昨年同様、4-5歳児の保育料を無償化し、負担軽減を実施しました。病児・病後児保育事業については、平成30年度より月曜日から土曜日の開設としました。 また、働き方改革セミナーとして、有給や産休、育休の取得促進に関するセミナーを実施しました。				
				150	健康福祉部	健康課	②	B	80	79	C							
				151	教育委員会	こども未来課	②	B	67	80	C							
				152	健康福祉部	地域福祉課	②	S	292	219	A							
				153	教育委員会	こども未来課	②	B	93	93	C							
				154	教育委員会	こども未来課	②	A	100	100	B							
				155	教育委員会 (ふるさと創造部)	こども未来課 (人口増政策課)	②	A	100	100	C							
				156	教育委員会	こども未来課	②	S	108	86	A							
				157	健康福祉部	地域福祉課	②	A	100	97	B							
				158	健康福祉部	国保医療課	②	B	94	93	C							
				159	健康福祉部	健康課	②	S	118	94	B							
				160	健康福祉部	地域福祉課	②	—	—	—	B							
				161	地域振興部	産業振興課	②	B	93	93	B							
				162	健康福祉部	地域福祉課	②	A	100	67	B							
				163	ふるさと創造部	人口増政策課	②	—	—	—	D							
				164	教育委員会	こども未来課	①	—	—	—	C							
				165	教育委員会	こども未来課	②	S	311	155	A							
				166	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	94	87	B							
				167	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	71	64	C							

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く達成、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)			市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名		区分	単年(H30)	最終(R2)			総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等
														H30取組状況	課題と今後の取組		
7-22	自然と共生する里地里山づくり	1		169	地域振興部	農政課	②	B	90	90	B	②	B	自然と共生する里地里山づくりのため、住民参加による地域の里山整備を支援し9団体に対し補助金を交付しました。ため池の改修は、事業着手(三口町、坂本町、田谷町)5池、調査設計(東高室)3池を実施しています。 あびき湿原では近年来場者が多くなったため、市と県が補助を行い、あびき湿原内に盗掘防止用の柵を設置しました。また、保全活動を推進するため、ソフト面の支援を行いました。 また、兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業として、夏休みにバスツアーを企画し159名の応募があったものの、天候不良のため実施できませんでした。	有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐため、新たに被害が発生している南部地域を中心に金網柵を設置するとともに、有害鳥獣の直接駆除により個体数管理を適切に行い被害額の軽減に努めます。 兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業では、平成30年度は天候不良のため未実施となったが、次年度以降は、様々な層に知的関心をもっていたけるような企画を検討・実施します。	A	企業による森づくり事業について、どのように進めているのかが見えにくい。すでに目標は達成しているが、それ以上の成果を目指していただきたい。
		2		170	地域振興部	農政課	②	A	100	100	B	②					
		3		171	生活環境部	環境課	②	A	100	100	B	②					
		4		172	地域振興部	農政課	②	A	100	73	B	②					
		5		173	地域振興部	農政課	②	S	120	112	A	②					
		6		174	地域振興部	農政課	②	S	111	100	A	②					
7-23	加西の風土を活かした景観づくり	1		175	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	188	150	S	②	B	市街地の再活性化及びビジネスホテルの開業に合わせて、旧市街地への流れを作るためのマップを作成しました。サイクリストに人気のマップ「カサイチ」を更新した。フォトコンテストでは、Instagram部門を新設し、369点の出品がありました。 花咲くまちづくりを推進するため、フラワーセンター、播磨農高で花苗の育苗を行い、公共施設や老人会花壇等に植栽することで、加西市の美しい環境を彩る「花咲くまちづくり」活動に努めました。また、植栽、育苗作業に取り組むボランティアや老人会委員の生きがいや交流の場を創出しました。	現行の観光ガイドマップが10年経過しており、新しい観光ガイドマップを作成して、加西市内の体験型ツーリズム(コト消費)をPRしていきます。 また、花苗、土等の資材単価が高騰していますが、目標とする花苗の配布数の確保に努めます。	A	屋外広告物手続き件数や開発調整条例に基づく事前協議件数について、なぜ目標値を下回っているのか分析していただきたい。
		2	6-92	176	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	209	191	A	②					
		3		177	都市整備部	都市計画課	②	B	87	74	B	②					
		4		178	都市整備部	都市計画課	②	B	83	83	C	②					
		5		179	都市整備部	都市計画課	②	A	100	100	B	②					

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】…①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】…S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】…S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】…①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】…S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H30)	最終(R2)				H30取組状況	課題と今後の取組			
8-24	省エネ・蓄エネ・創エネの推進	1		181	生活環境部	環境課	②	S	103	101	A	②	A	市庁舎の電気使用量について、デマンド監視システムを運用し、庁舎電力負荷が上がらないように努めました。 また、引き続き電気自動車とともに住宅用蓄電池に対する設置補助金を実施しました。大規模太陽光発電施設の設置について、事業者に指導、助言を行い、地域の住環境に配慮した創エネの導入に努めるほか、グリーンハウス建築促進補助金を実施しました。	省エネ・蓄エネ・創エネの推進として、市庁舎の電気使用量についての取組を継続していきます。 引続き住宅用蓄電池設置補助金と電気自動車・PHEV等導入補助金を実施し、蓄エネ・節エネをより一層推進します。	A	市庁舎の電気使用量が上がっているのは、昨年度の災害時における停電が多かったためという理由では理解できる。また、仕事の効率が悪くならないような省エネ対策をしていただきたい。	
		2		182	都市整備部	都市計画課	③	—	—	96	B	①						
		3		183	生活環境部	環境課	②	S	151	130	S	②						
8-25	水環境のまちづくり	1		185	生活環境部	上下水道課	②	B	99	97	C	②	B	水道事業では、3地区 L=2.04kmの配水管布設を実施しました。有収水量は、家庭用・公共用の減少を営業用の増加で補い、配水管や配水池にかかる修繕費や委託料等、維持管理費用の削減に努めました。 下水道事業では、引き続き水酸化補助金の交付制度を実施し、水酸化率の向上に努めました。 また、福住・剣坂地区の実施設計と南網引地区の工事を行いました。 道路改良事業に伴い、透水性舗装整備に取り組みました。	配水池の新設工事に伴う新設管の布設工事を優先したため、非耐震管の布設工事を行えませんでした。新設管布設工事は、令和2年度より実績を上げていきます。 市川町とは受水状況を見ながら協議することとなっていることから、引き続き交渉を継続します。 水酸化率は順調に伸びていますが、今後も補助金制度を継続実施し、水酸化の促進に努めます。また、生活排水処理計画に基づき、統廃合事業を実施します。 歩道の透水性舗装については、道路改良事業と併せて計画的に整備を進めてまいります。	B	透水性舗装の実施について、達成率が低い理由が明確ではない。道路関係の事業は、計画どおりに進まない場合が多々あるため目標の設定が難しいが、次期計画策定時には注意が必要である。	
		2		186	生活環境部	上下水道管理課	②	S	102	100	A	②						
		3		187	生活環境部	上下水道課	②	A	100	33	B	②						
		4		188	生活環境部	上下水道管理課	②	S	104	104	A	②						
		5		189	都市整備部	土木課	②	B	36	23	C	②						
8-26	ゴミ減量と資源リサイクルの推進	1		191	生活環境部	環境課	②	S	111	100	A	②	B	播磨風土記をデザインしたマイバック(エコバック)を作成・配布し、消費者側からのレジ袋削減に取組みました。平成30年度はマイバック(エコバック)300個を補充作成(配布実績301個)しました。 家庭用の廃食用油の回収量は、平成30年度10,925L、廃食用油売却収入は29,565円でした。「与作プロジェクト」は、市内間伐ボランティアや市内福祉法と協力し、6tの間伐材が薪に加工されました。「かぐや姫プロジェクト」では、放置竹林整備のため、樹木粉砕機を貸出しました(4団体)。	市内の一般家庭からの廃食用油の回収は市民に浸透しており、リサイクル意識の啓発にも繋がっているため、継続して実施していきます。今後、広報、回収方法の再検討が必要です。 資源物集団回収登録団体による年間回収量(t)について、市内全域に民間企業による新聞雑誌、段ボールの回収ボックスが設置され、集団回収事業で回収量が減少傾向にありますが、引き続き事業の啓発に努め、地域におけるごみ減量とリサイクルの推進を図ります。	B	廃食用油の回収量について、取組に対する努力は認めるが実績が伸びないため、もう少し広報が必要である。	
		2		192	生活環境部	環境課	②	A	100	99	C	②						
		3		193	生活環境部	環境課	②	B	78	75	C	②						
		4		194	生活環境部	環境課	②	B	90	89	C	②						
8-27	環境学習の推進	1		195	教育委員会	生涯学習課	②	B	56	42	C	②	B	環境学習の推進として、公民館ではこども向けの講座や高齢者学級で環境学習を開催しました。 また、小・中学校で、校区の特性を生かした里山保全活動、希少生物調査活動、稲作等農業体験などの環境体験学習等を実施するほか、地域人材を活用し、人・地域とつなぐ研究を進めるなどの取組も行いました。 教員を対象とした環境学習に関する研修として、「次世代型農業施設」や「あひき温泉」を見学し、農業と科学を融合させた環境にやさしい次世代型農業について考え、守り伝えるべきふるさとの自然に触れ、教科化について考える機会となりました。	兵庫県教育委員会が推進する「兵庫型体験学習」の一環として、小学校3年生での環境体験学習を中心に、事業が継続されています。今後は、これまでの実績に加え、小中9年間を見通した環境学習の実施、各校区の特色を踏まえたカリキュラムの整備、人材バンク等、実績の蓄積と改善が必要な時期となってきました。そして、各校区での体験をともなう新たな学習教材の開発、地域人材の発掘に努め、さらに意味ある環境体験学習を目指しています。 環境経営システムは、認証取得に数十万円から百数十万円の費用がかかるため、取り組める事業者が限られます。更新しない事業者が増えているため、取組内容の変更も含め、見直しを検討します。	B	環境課と教育委員会生涯学習課で連携して事業実施してみてもどうか。	
		2		196	教育委員会	生涯学習課	②	S	253	233	S	②						
		3		197	教育委員会	学校教育課	②	A	100	100	B	②						
		4		198	生活環境部	環境課	②	B	66	66	C	③						
		5		199	教育委員会	学校教育課 総合教育センター	②	B	50	100	C	②						

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了  
 【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く達成、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。  
 【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている  
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止  
 【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
								区分	単年(H30)	最終(R2)				H30取組状況	課題と今後の取組			
9-28	情報公開と住民自治のまちづくり	1	6-91	201	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	75	75	C	③	C	地域おこし協力隊について、2名(2期生)でスタートし、平成30年5月に3期生1名を採用し、3名体制で実施しました。但し、2期生のうち1名は市内で起業・定住の自覚が中途で退任したほか、残りの2期生1名は、市の求める隊員活動とズレが生じたため退任。新たな協力隊の採用にむけて、受け入れ地域団体(ふるさと創造会議)を対象に、協力隊研修を実施しました。 ふるさと創造会議では、平成30年3月をもって市内全地区において、創造会議が設立されたことから、平成30年度は各創造会議の組織運営を中心に支援しました。	地域おこし協力隊では、受け入れ地域団体(ふるさと創造会議)の協力隊制度及び隊員の活動内容に対する周知と理解が不足していると考えています。 ふるさと創造会議については、組織メンバー及び事業(イベント中心の事業)の硬直化や限られたメンバー(役員)間のみでの情報共有が課題であると考えることから、外部アドバイザーの活用や地域づくりセミナー等を実施し、組織体制や組織運営の支援を行ってまいります。	B	タウンミーティングでの意見・回答のHP掲載件数について、行政指導型タウンミーティングだけではなく、地域企画型も開催しているのであれば、それも情報公開すべきである。 ふるさと創造会議の集落支援員数については、0のままで目標達成からかけ離れた状況である。また、各ふるさと創造会議が受け入れられる状況にはないことも理解でき、時間やお金の問題もある。『集落支援員』という名前も悪いのではないか。次期計画では事業そのもののあり方を検討すべきである。	
							②	B	50	50	C							
		2	6-90	202	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	76	54	C	②						
							②	B	41	27	C							
		3		203	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	143	143	B	②						
		4	4-73	204	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	A	100	100	B	②						
5		205	ふるさと創造部	秘書課	②	B	50	50	C	②								
6	4-72	206	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	B	0	0	D	②								
9-29	自己実現と共生のまちづくり	1		207	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	48	40	C	②	B	在住外国人のための学習支援について、学校の授業についていけない児童とその保護者のための日本語教室を開塾するとともに、増加する外国人に対応できるよう整備していきます。 地区人権学習会、まちかどフォーラム(町別学習会)の内容、進行について、参加者から「マンネリ化している」「意見発表を求められるので参加したくない」などの意見がだされたり、町の役員の責任出席している状況などから、内容、進行方法等について音楽を取り入れるなど、楽しみながら学習できる手法を取り入れる等の工夫をしていきます。				
		2		208	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	51	34	C	②						
		3		209	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	75	60	C	②						
		4		210	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	323	258	A	②						
		5		211	ふるさと創造部	人権推進課	②	S	109	101	A	②						

平成30年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S:予定より早く進行、A:予定通り進行、B:予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S:目標を大きく上回って達成、A:目標を上回って達成、B:目標を達成、C:目標を下回っている、D:目標を大きく下回っている

基本 政策	施策	枝 番	戦略 アクション プラン	個票 ページ	主管部課		進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	自己評価(1次評価)		市民会議意見(2次評価)		
					部名	課名		区分	単年 (H30)	最終 (R2)			総合 評価	最終とりまとめ	総合 評価	意見・提案等	
																	H30取組状況
10 30	行政サービスの向上と効率経営	1		213	総務部	総務課	②	S	101	100	B	②	B	市役所の正規職員総数について、新規採用を抑制し、再任用制度を活用し計16名の任用を行うこと等により、正規職員数を4名減としました。 第6次総合計画及び地域創生戦略の評価検証を行うため、引き続き地域の産学官金労言老若女の有識者による加西市元気なまちづくり市民会議を設置し、計4回の会議を開催しました。 また、行財政改革の取組みとして、基金残高は前年度の病院への繰出等の影響により基金積立は少なく、前年と同水準のまま目標を下回りましたが、ふるさと納税推進事業の更なる強化をはじめ、歳入の確保・歳出の適正化に努めた結果、実質収支に大きな改善が見込まれ、R元年度には多額の基金積立を行い目標に近づくことができそうです。	行政ニーズの多様化・高度化に対応するため、行政職を中心に業務量は増加している状況にあり、働き方改革やワークライフバランスに配慮した人員体制の確保を行っていく必要があります。 また、令和2年度から予定される会計年度職員制度の準備が必要です。 定住自立圏においては、次期計画の策定(令和元年度末)に向けて連携事業の評価・見直し等を進めていきます。		
		2		214	総務部	総務課	②	A	100	67	B	②					
		3・8	6-95	215	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	97	93	B	②					
		4		217	総務部	管財課	②	—	—	—	B	②					
		5	6-94	218	総務部	財政課	②	B	88	88	B	②					
							②	S	106	102							
							②	S	101	101							
					②	B	96	88									
6		220	総務部	税務課	②	S	128	127	A	②							
7		221	総務部	管財課	②	S	128	128	B	②							